

セルリー(野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	斑 点 病	軟 腐 病	灰 色 か び 病	う ど ん こ 病	菌 核 病	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ヨ ト ウ ム シ 類	オ ハ ス モ ン ヨ ト ウ ガ 類	タ バ コ ガ 類	ナ メ ク ジ 類	ハ ダ ニ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ 類	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ 類
アグロケア水	BM2		1	-	◎		◎	◎												
エコショット顆水	BM2		1	-	◎															
スターナ水	31		14	3		◎														
トップジンM水	1		60	2	◎															
アフェットFL	7		1	3	◎				◎											
アミスター20FL	11		3	4	◎															
ストロビーFL	11		1	3	◎															
スコア顆水	3		1	3	◎															
トリフミン水	3		1	2	◎															
ヨネポン水	M1		7	3	◎	◎														
ダコニール1000FL	M5		21	2	◎															
カスミンボルドー水	24・M1		7	3	◎	◎														
スピノエース顆水	5		3	3									◎							
コロマイト乳	6		3	2														◎		
アクタラ粒5	4A		*b *c	2									ナ ナ							
アドマイヤーFL	4A	劇	7	3						◎										
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		14	2						◎										
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*b	1						◎										
ダントツ溶	4A		3	3						◎	◎									
ダントツ粒	4A		*b	1						◎										
モスピラン顆溶	4A	劇	7	2					◎	◎		ナ								
モスピラン粒	4A		*b	1						◎		ナ								
ディアナSC	5		1	2								◎	◎							
ラディアントSC	5		1	2								◎	◎							
アニキ乳	6		1	3									◎	◎						
アフーム乳	6		7	3								◎	◎	◎	◎	◎				
コテツFL	13	劇	14	2									◎							
リーフガード顆水	14	劇	7	2														◎		
カスケード乳	15		14	3							◎	マ	◎							
トリガード液	17		7	3								マ								
ハチハチFL	21A	劇	30	2						◎		ナ								
ウララDF	29		1	2						◎										
プレオFL	UN		1	2								◎	◎							
ナメトックス粒	-		3	2														◎		
ナメナイト	-		3	2														◎		

*b:定植時 *c:鉢上時
ナ:ナモグリバエ マ:マメハモグリバエ

セルリー

セルリー(野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑点病	生育期	・発病初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 スコア顆粒水和剤 2000倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍	6月はじめから盛夏にかけて発生する。
	収穫期	・被害茎葉を圃場に残さない。	
軟腐病	定植前	・低湿地での栽培を避け、排水を良好にする。	
	生育期	・発病初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 スターナ水和剤 2000倍 ヨネポン水和剤 500倍	
モザイク病	育苗期	・夏まき栽培における苗床は必ず寒冷紗で被覆し、アブラムシの飛来を防止する。定植後も生育中期まで寒冷紗被覆栽培を続けると、さらに効果が高い。	キュウリモザイクウイルス(CMV)によっておこるものが多い。 夏まき栽培(5~6月播種)に発生が多く、アブラムシが多発したときに被害が大きい。
	生育期	・生育初期からアブラムシ類を防除する。	
アブラムシ類	育苗期	・苗床は寒冷紗などで被覆する。	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アドマイヤーフロアブル 4000倍	
ハモグリバエ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 2500倍	
ヨトウムシ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 コテツフロアブル 2000倍	5~6月と9~11月に発生する。老熟幼虫は薬剤が効きにくいので早期に防除する。
ハダニ類	生育期	・発生初期に次の薬剤を散布する。 コロマイト乳剤 2000倍	夏期に乾燥すると発生が多い。
ネコブセンチュウ	定植前	・前作物に寄生があったところでは土壌消毒する◇。	◇土壌消毒の項参照
その他の病害虫		葉枯病	